

2024 年度外国学校卒業学生特別選考小論文問題（第 2 種）

2024 年 2 月 25 日 9 時 30 分～12 時

(注意) 解答は、A・B それぞれ解答用紙 1 枚で解答すること。

科 類	文科二類
-----	------

受験番号	G						
------	---	--	--	--	--	--	--

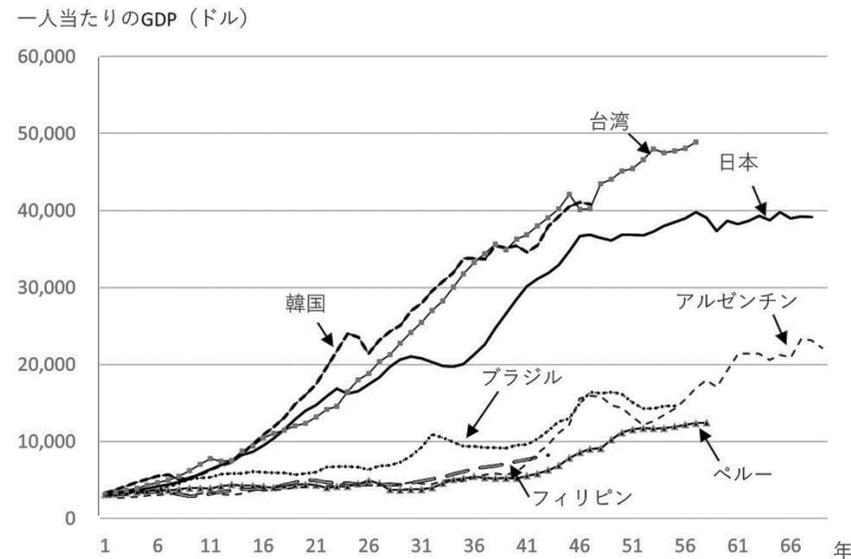
※上欄に、受験番号を記入しなさい。

A（日本語で解答する問題）

先進諸国の税制をみると所得にかかる税は累進的（所得が増えるほど税率が増える）である国が多く、消費にかかる税は比例的（消費と税収は比例的）である国が多い。その理由について、自分の考えを述べなさい。

B（出願時に選択した日本語以外の言語で解答する問題）

下のグラフはいくつかの国における米ドル換算の一人当たりの GDP が 3000 ドルに達してから、その値がどのように変化してきたかを示している。



(注) 横軸は一人当たりの GDP が 3000 ドルに達してからの経過年数を、縦軸は一人当たりの GDP を表している。(Penn World Table version 10.01 より作成)

図から分かるように、日本や台湾、韓国では一人当たりの GDP が 3000 ドルをそれぞれ 1951 年、1963 年、1973 年に突破してからも数十年は順調に高成長を維持してきた。一方、アルゼンチン (1951 年)・ペルー (1962 年)・ブラジル (1965 年)・フィリピン (1977 年) では 3000 ドルを突破してからの成長の度合いは緩慢である。この違いが生じる要因について、あなたの考えを述べなさい。